

## 一般質問

福山市議会では、毎定例会で一般質問を行っています。

一般質問は、質問の時間を会派の所属議員数に応じて配分し、配分された時間内であれば質問者数に制限は設けません。

また、質問・答弁の方式も、初回の質問は「一括質問一括答弁方式」で登壇して行い、2回目以降の質問は「一問一答方式」を選択することもでき、議員席最前列中央に設置した質問席で行います。

この定例会では、議案や市政全般について、25人の議員が一般質問（24人が一問一答方式を選択）を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。



早川 佳行 議員  
水曜会

### 公共建築物等木材利用促進方針の策定は

**問** ①本市での方針策定を強く要望するが、考えは。

②23年度の本市の公共建築物への木材使用状況は。

**答** ①木材の利用促進は、森林の整備や山村をはじめとする地域経済の活性化につながることから

早期の方針策定に向け、検討する。  
②グラウンド・ゴルフ場、小中学校屋内運動場など10施設で使用しており、引き続き木材の使用に努める。



グラウンド・ゴルフ場に新たに設置された木材を使用した日よけ屋根(左側)



熊谷 寿人 議員  
水曜会

### 市長の3期目に対する決意は

**問** 市長は見事当選を果たしたが、3期目に対する決意は。

**答** 今期は、本市の将来を方向付ける大変重要な時期であり、財政の健全性を維持しながら、時代の変化を見越した行政運営を行う。そのため、中期的な財政推計を

踏まえ、義務的経費の縮減に努める一方、まちの活力に必要な投資的経費は現在の水準を確保したい。また、本市が将来にわたって発展し続けるよう、協働の取り組みをさらに進め、市民一人ひとりが地域の中で豊かさを感じ、生きがいを持って活動できるよう、新たな仕組みづくりと人づくりに取り組む。

豊かさも、物だけでなく、心の豊かさも含め、市民の皆さまと共有できる豊かさを実現する市政をめざし、全力で取り組む。



瀬良 和彦 議員  
水曜会

### 協働のまちづくりの今後は

**問** ①協働のまちづくり基金等を活用した市民活動への助成・支援のこれまでの成果と課題は。  
②今後の取り組みは。

**答** ①各学区まちづくり推進委員会を中心に、地域課題や学区の

実態に応じた特色ある事業に取り組み、地域の活性化、市民の自治意識の高揚につながってきていることが成果である。

また、協働の良さを実感できるような取り組みの広がりを持たせることや、まちづくりの将来を担う人材育成が課題である。

②課題を踏まえ、協働を支える新たな仕組みづくりを行い、市民一人ひとりがまちづくりの主役として生き生きと活躍し、存在感や心の豊かさを実感できる市政の実現に取り組む。

※公共建築物等木材利用促進方針：地方公共団体が整備する公共建築物において、木材の利用を促進するための施策についての基本的事項や、木材利用の目標等を定めたもの。